

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会 「道路・橋梁の維持管理」作業部会 状況報告

1 作業部会設置の目的（ねらい）

道路・橋梁のインフラ老朽化対策について、県内市町村の多くが抱えている技術ノウハウや、技術職員不足等の課題への対応を検討する。

2 昨年度の活動実績について

第4回、第5回（H26.12.5、H27.3.17開催）

○対策の実施と検証、テーマの絞り込みと検討

- ・前年度のプランニングに従い、対策案を実施し成果や課題について検討
- ・課題解決に有効と思われるテーマをさらに絞り込み、先進事例等を紹介しながら意見交換を行い、掘り下げた検討を実施

3 本年度の活動実績について

「公共施設等総合管理計画」の策定状況を踏まえ、単独の自治体だけでは解決が困難なインフラマネジメントについての研究を実施

(1) 第6回（H28.1.15開催）

○ 管理施設の規模に応じた合理的な維持管理に関する研究

（研究内容）安全性を確保しながら維持管理レベルを最適化することでコスト縮減を図る手法を研究（対象：15m未満の橋梁）

（研究手法）他県の事例や、既往の研究成果等を用いて県の技術アドバイザーを講師に招き研修会を実施

- ・維持管理費削減のため、施設に応じた管理区分の設定（長寿命化する／しない）や管理施設の廃止・集約化の可能性について意見交換

○ 橋梁点検の直営点検に関する研究

- ・技術力向上やコスト縮減を目的に小規模橋梁の「直営点検」の実施を検討
- ・点検講習会の開催により点検技術を習得、1,598橋の直営点検を実施した。
- ・市町村管理橋梁の点検実施率は、国が設定した目標値の40%を越えた。

(2) 第7回（H28.3.9開催）

○ 橋梁の供用廃止・集約化に関する研究

（研究内容）橋梁の供用廃止・集約化に対する各自治体の基本的な考え方の把握と実施可能性の研究

（研究手法）・廃止・集約化への市町村アンケートに基づく意見交換

- ・他自治体の取り組み、成功事例の研究
- ・成功事例等を踏まえた各自治体への適用可能性の検討
- ・廃止・集約化の事例を収集し、意見交換することで、各自治体の適用にあたっての課題を類型化した。「合意形成」、「代替措置」、「財源」等

4 次年度の活動予定について

- 施設に応じた管理区分の設定（長寿命化する／しない）等について、さらなる研究を深め、対応方針を検討
- 道路管理や除雪業務について、通年又は複数年契約による外部委託や市民協働の方策など、より効率的・効果的な業務の進め方と推進にあたっての課題等を検討